

松江城天守国宝指定5周年記念
特別展「松江城大解剖－城郭そして城下町－」

(主催〔会場〕：松江歴史館〔企画展示室〕)
(会期：令和2年6月26日〔金〕～8月19日〔水〕)

紙上ギャラリートーク

はじめに

新型コロナウイルスの影響で、特別展「松江城大解剖－城郭そして城下町－」は当初の予定どおりには開催できなくなってしまいました。幸い、会期を変更して6月26日から開幕に至りましたが、ギャラリートークは残念ながら中止せざるを得なくなりました。そこで、ギャラリートークでお話する予定だったことをいくつかピックアップして紙上でご紹介します。

松江城研究の到達点－『松江市史』別編「松江城」

松江市では平成20年(2008)に松江市史^{へんざん}編纂基本計画を策定し、通史編5巻、史料編11巻、別編2巻の全18巻にわたる『松江市史』の編纂に向けて、松江の歴史や文化にまつわる様々な調査や研究が行われました。この別編の一つに「松江城」編があります。この編纂に向けて国宝指定後も松江城に関する調査研究が進展し、平成30年(2018)3月に『松江市史』別編「松江城」が刊行されました。これは現在の松江城研究の到達点といえるでしょう。

この『松江市史』では、「城山」と呼ばれる内堀に囲まれた本丸、二之丸や、現在は島根県庁が建つ三之丸からなる^{じょうかく}城郭だけでなく、その周囲に広がる城下町も対象にしています。

松江城天守が国宝に指定された5年前は、調査研究で明らかになった松江城天守の建築的特徴や調査のもとになった昭和の解体修理資料など、国宝指定の要因をテーマにして松江城天守に焦点を当てた特別展を開催しましたが、今回の特別展では天守だけでなく城郭や城下町にも目を向けています。展示品は1,000頁近い『松江市史』別編「松江城」に登場する資料や作品の一端にすぎませんが、最新の調査研究で解明された松江城の魅力を感じ取っていただければ幸いです。

改めて見直されている松江城天守雛形

展示室に入ると、高さ103cmの松江城天守の木製模型が眼前にそびえ立っています。江戸時代の前期から中期にかけて制作された「松江城天守雛形^{ひながた}」(出品番号4、松江歴史館蔵)です。由緒書に「右御天守雛形ハ御月見之櫓下ニ御納ニ相成、御代々様御天守御登之節御覽被為在候御格合之由」とあり、松江城二之丸にあった月見



松江城天守雛形(出品番号4、松江歴史館蔵)

櫓下に納められて、代々藩主が天守に登る際にご覧になったようです。

この松江城天守雛形は外壁や屋根がないので、内部を覗き込むと柱梁の架構や床組みなどが確認できます。2階分の長さの通し柱や、4階から5階の通し柱の5階部分が細く削り出される点など、松江城天守の建築的な特徴を細部にわたり表現しています。

松江城天守は昭和 25～30 年（1950～55）に解体修理工事が行われていますが、松江城天守雛形はこの修理で復原根拠の歴史資料として注目され、昭和 28 年（1953）に松江市指定文化財に指定されました。現在我々が目にしている松江城天守は、この昭和の解体修理後の姿なのです。

なお、展示している松江城の城郭絵図「出雲御本丸」（出品番号 22、島根県立古代出雲歴史博物館蔵）には、層塔型五重で二重目に比翼千鳥破風を有する松江城天守が描かれています。『松江市史』では、このように初期の松江城天守が現在と異なる姿であったと考察しています。松江城天守雛形は、近年この考察をさらに深めるため継続して調査されており、松江城天守の歴史を解明するための資料として改めて見直されています。

松江城廃城でも救われて形が残る鯪瓦

松江城天守雛形の脇を通して展示室の中に進むと、一对の瓦製の鯪瓦が露出展示してあります。

明治維新により全国各地の城の命運は明治政府の手に委ねられ、松江城は明治 8 年（1875）5 月に売却処分の方針が決まったようです。旧藩士の高城権八や出雲郡の豪農勝部本右衛門親子（栄忠・景浜）たちの努力により天守は残ったとされていますが、天守以外の城内の建物は売却・解体され姿を消しました。このとき散逸したと考えられる松江城のものと伝わる部材などが、今もいくつか残っています。

今回展示している一对の鯪瓦は松江城内にあったと言い伝えが残るもので、平成 25 年（2013）3 月、松江市に寄贈されました。鯪瓦は上部と下部に分けて焼成されており、接合した片方の鯪瓦の高さは 105 cm あります。これだけ大きくて重量のある鯪瓦を屋根に飾る建物は、規模が大きく頑丈な城郭内の櫓や門であるとみていいでしょう。なお、寄贈者の曾



鯪瓦（伝松江城）（出品番号 21、松江市埋蔵文化財調査室蔵）

祖父は卒族（足輕）として松江城に勤務していたといえます。松江城廃城の折に、何らかの事由で譲り受けたのかもしれませんが、いずれにしても、大切に保管されていたのでしょう。

なお、発掘調査で城郭内からいくつもの鯨瓦の破片が出土しています（出品番号 24〔本丸弓櫓西側多門跡〕、同 25〔二之丸中櫓跡〕、同 26〔二之丸太鼓櫓跡〕、同 29〔大手門跡周辺〕）。しかし、形がほぼ完全に残る鯨瓦はほとんどないことから、この露出展示の鯨瓦は貴重な資料であるといえます。

松江城のルーツ・浜松城とのつながりを示す松江城天守古材

先述したように、松江城天守は昭和 25～30 年に大規模な修理が行われましたが、その際に取り替えられた解体部材がいくつか残っています。その中には江戸時代の年号や大工名など墨書が残る古材もあり、出雲国以外の地名を墨書した古材も確認できます。

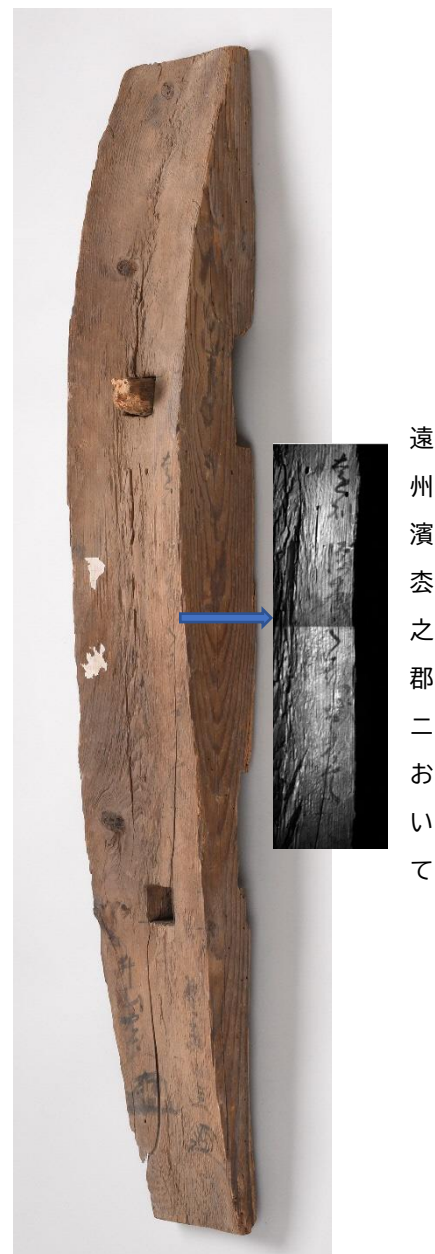
一階床梁の根太本材を補う継目材だった古材（出品番号 12、松江歴史館蔵）には「遠州濱柰之郡ニおいて」「野口小兵衛（花押）」「井山忠左衛門（花押）」という墨書が残っています。墨書の人物は特定できていませんが、「遠州濱柰」（遠江国浜松）は現在の静岡県浜松市を示しています。実質的に松江城の築城を主導した武将堀尾吉晴は、出雲国に入部する前、浜松を領地としていました。

天正 18 年（1590）、徳川家康の関東移封に伴い浜松へ入った堀尾吉晴は、浜松城を石垣や天守をもつ城に整備しました。これは近年の浜松城の発掘調査でも明らかにされています。ちなみに、浜松城天守は石垣内部に井戸があり、附櫓のような痕跡も残るなど、松江城天守との共通点が複数確認できます。「遠州濱柰」と墨書が残る古材は、松江城のルーツ・浜松との関係を示す貴重な資料といえるでしょう。

松江城下町遺跡から一括出土した上質な磁器群

松江歴史館の整備や松江地方裁判所の庁舎建て替え、都市計画道路城山北公園線（通称大手前通り）の拡幅工事などに伴い、平成 10 年から松江城下町遺跡の発掘調査が本格的に行われました。これらの発掘調査では、城下町に広がる武家地、町人地などの遺構や遺物が多く出土し、江戸時代の城下町遺跡が松江の地下に良好な状態で残っていることが明らかになりました。

中でも今回の特別展では、松江地方裁判所の庁舎建て替えに伴う発掘調査で一括出土した上質な磁器群を特集展示しています。



松江城天守墨書古材

（1 階床梁の添木、根太受）

（出品番号 12、松江歴史館蔵）

遠
州
濱
柰
之
郡
ニ
お
い
て

松江地方裁判所がある場所は、母衣町という上級・中級家臣の屋敷が集まる武家地でした。屋敷境だとされる溝から出土した磁器には、明末の中国景德鎮窯の古染付、南京赤絵、芙蓉手などヨーロッパに輸出された優品、初期伊万里、初期色絵（古九谷様式）（上段写真、出品番号 56～58）という 17 世紀前半の当時の最先端の国内製品、1670 年代に最も精緻な製品だった柿右衛門様式の染付（中段写真、出品番号 68、69）などがあります。中には同じ文様を描く同種の製品が複数あることから、揃いで使用・保存されていたようで、これら上質の磁器群は武家儀礼での饗宴で利用するための食膳具だとみられています。

なお、これらの磁器は、熱を受けて色褪せたりバラバラの破片になったりしています。松江藩松平家歴代家臣の系譜と勤功をまとめた『列士録』（出品番号 66）の 2 代目朝日丹波の項には、「同（延宝 6 年）六月十五日之夜母衣町大火」という記述があります。安易に捨てられるはずがないこれら上質な磁器は、延宝 6 年（1678）の「母衣町大火」という火災によって不要となり、屋敷境の溝に一括廃棄されたと考えられます。

おわりに

今回の特別展は、平成 27 年（2015）7 月 8 日に松江城天守が国宝に指定されてから令和 2 年で 5 周年となることを記念して開催するものです。多くの市民の念願だった松江城天守の国宝指定が 5 年前に実現したのですが、これはゴールではありません。国宝指定日は、重要文化財のうち極めて優秀で、かつ、文化史的意義の特に深いものとされた松江城天守を、未来へ伝えていくという責務を改めて担うスタート地点だといえるのです。

かけがえのない文化遺産である松江城を市民の手で守り、後世に伝えていくことを目的に、令和 2 年 5 月 15 日に「松江城を守る会」が設立されました。今回の特別展を通して、松江城をはじめとする文化財を守り伝えていく機運が高まることを願っています。



色絵祥瑞手大皿（中央：出品番号 57）

色絵五彩手大皿片（右：出品番号 56、左：出品番号 58）

（松江城下町遺跡〔母衣町 68〕出土、松江市埋蔵文化財調査室蔵）



上段：染付鳳凰文皿（出品番号 68）

下段：染付桐鳳凰文皿（出品番号 69）

（松江城下町遺跡〔母衣町 68〕出土、松江市埋蔵文化財調査室蔵）

（文責：松江歴史館学芸係長 木下誠）